

「親子で塩浜作業体験」で熱中症対策を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動の協力団体の山口県防府市にある三田尻塩田記念産業公園には、江戸時代から昭和30年代まで当地で栄えた入浜式塩田が復元されています。

塩田公園では、2020年7月25日（土）から8月22日（土）までの土日で、9回に渡って、「親子で塩浜作業体験」イベントを開催しました。

新型コロナウイルスの流行下、感染拡大を防ぐため、各回の定員を10名に制限し、マスクの着用を義務付けての開催となりましたが、合計で66名の参加がありました。

新型コロナウイルスだけでなく、この季節、屋外での塩浜作業では特に、熱中症に気をつける必要があります。

そこで、塩田公園では、暮らしおの熱中症予防啓発ポスターを掲示して注意を呼びかけるとともに、塩浜作業体験の受付時に塩飴を配布しました。

塩浜体験の参加者の皆さんは、塩飴を舂めながら作業をされていました。今夏は猛暑だったので、とても喜んでいただきました。また塩飴は、塩浜体験に参加されない来園者の方にもお配りし、熱中症予防に役立てていただきました。

